

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人一雅会
施設名	麦のうさぎ保育園
報告者（役職）	松岡 紀子（主任）
住所・連絡先	愛知県安城市堀内町カラ桶 17 番地
	☎ 0566-70-8839 E-mail mugi@nousagi.gr.jp

○タイトル（保育計画）

園庭遊びの充実

○主な助成備品

折りたたみネット太鼓橋、砂場収納ワゴン、木製ベンチテーブルセット、テントなど

1. 保育計画策定の目的

当園は平成 31 年 4 月 1 日に開園しました。園庭に雲梯や乳児用の滑り台はありますが、遊具が少なく、戸外遊びが充実していませんでした。そこで、今回助成金をいただくことで十分に活動できるような環境を整え、バランス感覚を養うこと、砂場遊びを通して団子や料理を作ったり、お店屋さんごっこをしたりと想像力を膨らませながら遊びを楽しむことが出来るようになりました。

2. 具体的な実施内容

<折りたたみネット太鼓橋>

<幼児クラス>

- ・手指や手足を使つての全身運動や、バランス感覚を養う。
- ・落ちないように集中して昇降する。
- ・地面より高い所からの眺めや、高さを楽しむ。
- ・昇降に慣れてきたら、サーキット遊びや高鬼をする。

<乳児クラス>

- ・ひとつひとつ足を掛けながら、集中して昇降をする。
- ・感覚に慣れてきたら、降りる時に向きを変えずに体やお尻を使ってバランスをとりながら、降りる。
- ・保育士に見守られながら、縄の感触や、昇ったときの心地よさを感じる。



<砂場収納ワゴン、木製ベンチテーブルセット>

- ・砂場収納ワゴンを砂場に持ってきて個々に使いたいものを使用し、ままごと遊びやお弁当を作る。
- ・木製ベンチテーブルセットに並べて食事の雰囲気を楽しむ。
- ・入れ物に砂を入れて固め、テーブルの上に出してケーキに見立ててパーティーを楽しむ。



3. その成果と評価

＜折りたたみネット太鼓橋＞

綱の目が細かいこともあり、乳児でも昇降が少しずつできるようになった。バランス感覚が養われ、昇降に慣れてくると上を向いて空を見たり、ハンモックに見立てて寝てみると子どもたちの発想力で、違った楽しみ方で遊んでいることもあった。

幼児クラスは、この高さを利用して「高鬼」をしたり、サーキット遊びをしたりと、その日その日で遊びを考えながら楽しんでいた。

また、高い所に座ることに慣れてきて、地面より高い所からの眺めが子どもたちにとってとても興味深く、園庭全体を見渡すことや、上から下を見下ろすだけでもとても嬉しそうな表情が見られました。

＜砂場収納ワゴン、木製ベンチテーブルセット、テント＞

今までは砂場が直射日光に当たり、眩しかったり暑かったりすると、砂場を使用することが難しい日もあったが、テントを立てることにより日陰ができて遊ぶことができる日が増え、子どもたちも砂遊びができることを喜んでいて、早く遊びたくて、子どもがワゴンで砂場まで運ぶことを積極的にやっていた。ワゴンから好きな時に好きなものを取りに行くことが出来るため、遊びが充実していた。

テーブルセットの高さが乳児クラスにもよく、おままごとを楽しむことができた。

秋頃に運動会の練習も始まり、残暑が残る中での園庭での練習は暑くて大変だったが、テントを活用させていただき、日陰での休憩や当日の園児席として活躍しました。

4. 今後の課題と展望

太鼓橋を設置して1年が経ち、乳児は、幼児クラスの影響で昇降に挑戦し始め、上に登ることを楽しむ姿も見られました。

幼児クラスは、バランス感覚が整い、安全に配慮しながら競争して昇降したり、ハンモックのように寝て空を見て雲の形を見たりと、使い方を自分たちで考えて遊んでいるので、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、遊びが展開できるような声かけをしていきたいと思います。また、幼児クラスの姿を見て、乳児クラスの子も挑戦しようと頑張っているため、バランス感覚がつかめるように保育士が援助していきたいと思います。

砂場遊びも、ワゴンに砂場セットがたくさんあるので、自分のやりたいことを見つけて遊びに集中でき、保育目標でもある「意欲を持つ子ども」に繋がっていくと思います。

保育士側から提案するよりも、子どもたちで考えて、その遊びの輪が広がるように園庭に遊具が増えたことで、保護者の方にも喜んでいただいております。

今後も、心身の発達を図ると共に、子どもの個性、主体性を育てていきたいと思っています。この度は助成いただき、ありがとうございました。大切にしていきます。

以上